

普及項目	担い手、漁場環境、養殖
漁業種類等	－
対象魚類	－
対象海域	有明海、八代海、天草海

漁業者セミナーの開催

水産研究センター企画情報室・多治見 誠亮・梅本 敬人

【背景・目的・目標（指標）】

有害赤潮プランクトンによる漁業被害、海域環境の変化、水産資源の減少、魚価の低迷、資材や燃油の高騰など、本県の水産業を取り巻く状況が変化中、漁業者の技術やニーズに合わせた研修の実施が必要である。

また、本県の漁業就業者数は減少しており、新規就業者や国の長期研修支援事業を利用している研修生の漁業への定着を図る必要がある。そこで、漁業者や漁業関係者等に対し、受講者の経験や技術レベル等に応じた漁業者セミナーを行うことを目的とした。また、漁業者セミナーは、計4回以上実施することを目標とした。

【普及の内容・特徴】

令和7年度（2025年度）の漁業者セミナーの構成は、「水産業入門講座」、「長期研修サポートコース」、「養殖業初任者コース」、「漁業士養成コース」及び「浜の勉強会」とした。

1 「水産業入門講座」

海洋環境、漁業・養殖技術、水産関係制度・法規等10科目の中から3科目程度を受講者が選択し、基本的な知識を修得するセミナー。

2 「長期研修サポートコース」

新規就業者や国の長期研修事業を利用している研修生同士の交流や意見交換を通じた心理的不安の軽減、研修や就業に対する意欲の向上及び技術の効率化につなげるセミナー。

3 「養殖業初任者コース」

新たに魚類養殖業に従事する従業員等に対して、養殖業の安定的な経営のために、赤潮原因プランクトンや魚病に関する基礎的な知識を習得することを目的とした。

4 「漁業士養成コース」

漁業士認定候補者が①基礎講座、②リーダー養成講座、③専門講座の3講座を履修し、将来の中核漁業者となるための人材を育成するセミナー。

5 「浜の勉強会」

地域における、緊急性又は重要性の高いテーマについて、研究、行政、普及の担当者が現地で検討会や学習会を行い、漁業者等の知識・技術の向上につなげるセミナー。

【成果・活用】

漁業者・漁協職員・市町職員等を対象とした漁業者セミナーを計10回実施した。特に「養殖業初任者コース」による先輩養殖業者からの講話や「長期研修サポートコース」による新規就業者同士の交流を通じて、就業初期の課題や不安軽減に繋がる機会を提供した（図1、2）。また、受講者のニーズや課題を把握することで、今後の研修内容の充

実や新規就業者への定着支援に繋がる知見を蓄積することができた。

【達成度自己評価】

5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）

表1 漁業者セミナーの開催状況

コース名	講座名	実施状況	受講者
水産業入門講座		4月18日 水産一般、海洋環境	市職員 2名
		10月1日、2日、3日、6日 水産一般、つくり育て管理する漁業、漁業・養殖技術	水産関連団体職員 4名
		10月23日 水産一般、海洋環境、水産関係制度・法規	漁船漁業者 1名
長期研修サポート コース		10月10日 グループディスカッション、講師講話	長期研修生 7名 市職員 4名
養殖業初任者コース		5月8日 赤潮原因プランクトン、魚病に関する基礎、先輩養殖業者の講話	漁業者 3名 漁協職員 2名
漁業士 養成 コース	基礎講座	10月15日 県広域本部管内のノリ養殖業者を対象に実施 12月15日 天草広域本部管内の漁船漁業者を対象に実施	県北広域本部管内 ノリ養殖業者 2名 天草広域本部管内 漁船漁業者 1名
	リーダー 養成講座		
	専門講座		
浜の勉強会		テーマ：「赤潮被害軽減及び防除対策について」 実施日：5月13日 実施地区：上天草市龍ヶ岳町大道地区、天草市御所浦地区 内 容： ・赤潮対策プロジェクトチームについて ・令和7年度（2025年度）赤潮対策及び補助事業について、 ・令和6年度（2024年度）ドローンによる赤潮モニタリングについて	魚類養殖業者 8名 漁協職員 4名 市職員 3名
		テーマ：「今年の赤潮発生状況及び赤潮対策に係る試験の状況等について」 実施日：①10月28日、②11月6日 実施地区：①天草市楠浦地区 ②上天草市龍ヶ岳町大道・天草市御所浦地区 内 容： ・今年の有害赤潮プランクトンの発生状況について ・赤潮対策に係る試験の進捗報告について	地区① 魚類養殖業者 3名 漁協職員 4名 市職員 1名 地区② 魚類養殖業者 4名 漁協職員 3名 市職員 3名



図1 長期研修サポートコースの実施



図2 養殖魚初任者コースの実施